


ソ ー サ リ ア ン SORCERIAN

THE GOTHERIE SORCERESS FROM DRAGON'S CROWN
PRESENTED BY KIKYAKUDOU KARATEKA・VALUE
FOR ADULTS ONLY





■ここは巨大な地下迷宮。都市の真下にあるその迷宮は強力な魔物が住み、そして巨大な秘宝が眠るという。その秘宝の名はドラゴンスクラウン。冒険者たちはある目的のため、また、野望のためにその秘宝を求め地下迷宮へと挑戦してゆく。

■黒魔術を扱うソーサレス。彼女もまたその中の一匹であった。強力な魔法を使い快進撃を進めていた彼女。だが、この地下迷宮は生ぬるいものではない。幾多の魔物、怪物、キノコ火打ちが行く手を阻む。

■やがてソーサレスは抵抗むなく、サイクロプスの前に敗れてしまう。この地下迷宮での敗北。それは死を意味する。

■横たわるソーサレスに、サイクロプスは近づいてくる。「くう…」ソーサレスは覚悟した。

■だが、ソーサレスの予想に反し、これから死よりも厳しい現実が彼女を襲う事を彼女は知る由もなかった。

■醜悪な物体がソーサレスの前に突き出される。

■サイクロプスはソーサレスのいやらしく垂れ下がった巨大な乳で挟み込み、強制的にしごき上げる。

■突き出された物体...それは、大きさが違えど、まごうことなき人間で言うところの生殖器であった。

■「うっ...くっくっさい...でも...すっすごいおちんちん♥♥」

■彼女はこれからおこることを察した。「これから私...♥この巨大なおちんちんで...めちゃくちゃに犯されちゃうんだ...♥♥」

■「はあ...♥すごい...おちんちん...♥♥」
熱くて...♥硬くて...♥人間のそれとは比べ物にならない...♥♥♥

■いままで見たこともないオスの象徴に、絶望感と期待感両方が彼女を襲う。

■「ずりゅっ♥ずりゅっ♥ずりゅっ♥ずりゅっ♥」
怪物がソーサレスの大きくやわらかい乳房に
巨根を擦り付けるたび、その音がいやらしく地下に響き渡る。

■「はあ♥私のおっぱいでも挟んで余りある
おちんちん♥♥♥こんなすごいモノが地下迷宮に
存在していたなんて…♥♥♥」

■ソーサレスは怪物が腰を振るのにあわせて
乳房の乳房をリズムカルに
擦り合わせる。

■「グルル…」
魔物は呼応するかのようにはげき声を上げ、
巨大ちんぽの鈴口からカウパー液を滲ませる。

■「じゅびっ♥♥♥じゅるっ♥♥♥
じゅるるるるるるる♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥
「ん…っ♥♥♥おいひい♥♥♥おひんひんの先ばひり汁♥♥
ふごい♥♥♥♥♥♥♥射精してるみはい♥♥♥」

■ソーサレスは下品なバキューム顔で
どンドン溢れ出るカウパー液を吸い、亀頭をほおぼりながら
口の中で唾液とよく混ぜ合わせ飲み込んだ。

■「あはあ♥♥私のおっぱいで
ごんなにおちんぼみるく射精すなんで♥♥
気持ちよかったのね♥♥♥」

■「ゲルアアアアアア！」
「ぶびゆるっ♥♥どぼっぶうっ!! ♥♥♥
ほびゆるっ♥♥ぐびゅっぶびゆるっ!! ♥♥♥
ぶび、びゅ、どぶびゆるるるるっ!! ♥♥♥」

■怪物は咆吼をあげ、粘度の高い濃厚な
白濁ザーメンをソーサレスの顔面に射精する。
あまりの粘度に、そのザーメンは目や口や鼻の穴をふさぎ、
強烈な臭気がソーサレスを襲う。

■ソーサレスは尿道に残ったザーメンを
根元からすごき、恍惚とした表情で鈴口から
噴出してくるモノを顔に受け止める。

■その後、ソーサレスは、
怪物の前に笑顔で横たわり
語りかける。

■そしてザーメンでべっとりになったおちんぼを、
最初にこびりついてたチンガスまで丁寧に舌で
こそぎ落とし、口の中で混ぜ合わせ
何回か咀嚼すると飲み込んだ。

■「さあ…来なさい?♥♥
この私を孕ませるつもりなんでしょう?♥
いいわ…♥受け止めてあげる…♥♥
その巨大おちんぼを根元まで啜えさせてあげる♥♥
だから…ねっ♥♥頂戴…♥♥そのおちんぼ♥♥♥」

■そう言ってソーサレスは自らきれいにした怪物の巨大おちんぼに対し
誘うように、怪物に向かってムチムチと熟した股を開いた。

■「みちゅっ♥」
ソーサレスは魔物の上にまたがり
股を大きく広げ、巨大な亀頭を
おまんこにあてがうと……

■「挿入ったあ♥♥サイクロプスの
巨大おちんぼおおお♥♥♥
しゅっごい…♥♥子宮が至急が押しつぶされてるの♥♥♥」

■「ずぼぼぼぼぼぼぼっ♥♥」
いきり立った怪物のおちんぼを
一気に根元まで飲み込んだ。

■「突いてっ♥♥思いっきり突いてえ♥♥」
目いっぱいまでちんぼを飲み込みなお腰を振る
ソーサレス。

■怪物も容赦ないさし使いでソーサレスのおまんこを
押し広げ、怪物専用のおまんことして拡張してゆく。

■「んほっ……♥♥あゝあゝあゝひいひいっ♥♥♥ おっ、おっ、おっ、おおおすごいひ♥♥、
ばきばきのおちんぼの血管があ♥♥♥おまんこの膣でコリコリしてえ♥♥♥
拡げられていくうううう♥♥♥♥」

■ソーサレスはぶるんぶるんとおっぱいを揺らし
だらしない顔つきで自分の膣が拡張されていくのを
身体で感じていた。

■それから何度も繰り返される荒々しいピストンについに、ソーサレスの子宮口がこじ開けられ巨大な亀頭が進入する。

■「ひっ♥♥♥♥いひひひひひひひひひひ♥♥♥♥」
「子宮…おながああ♥♥♥♥ふくらむうう♥♥♥♥
ふくらんでいくうううう♥♥♥♥」

■ソーサレスのおなかは魔物のおちんぼで妊婦のようにふくらみだらしな悦楽の悲鳴を上げる。

■「はへっ!♥♥♥♥イゲの?!♥♥♥♥
私のおまんこで射精するのおおお?!♥♥♥♥
いいわっ!♥♥♥♥いって!♥♥♥♥どびゅどびゅしてえ♥♥♥♥
白濁濃厚ちんぼみるくでソーサレスを
はらませでええええ♥♥♥♥」

■やがて魔物は大きな唸り声を上げると更に激しい腰つきでソーサレスのおまんこを陥落した子宮をえぐり、おちんぼをさらに膨張させた。

■ソーサレスはすべてのザーメンを受けとめられるよう膈内を更に掘り入り口をぎゅっと絞る。そして次の瞬間…

■どびゅっ！♥♥ぶぼっ！♥♥どぶううっ♥♥
ごぶぶぼっ！♥♥ぶびゅっ♥♥びゅっ♥♥ぶびゅううっ♥♥

■怪物はソーサレスの膣内に
常軌を逸したこってりとした濃厚なちんぼ汁を
注ぎ込んだ。

■「んお`お`おおおおおおおおおお〜んっ♥
おおおおおおお♥♥♥♥♥♥♥♥いぐうううう♥♥♥♥」

■通常では考えられないほどの射精時間で
大量のザーメンが流し込まれる。

■「ビュッビュルッどびゅっどびゅっ♥♥
どぶうどぶうどぶっどぶう♥♥

■「おおおん♥♥ちんぼみるく♥♥孕みるくが私の子宮を
たたきつけてるう♥♥♥サイクロプスの巨ちんぼオス
ミルクが止まらないいっ♥♥
はへ〜っ♥♥、へ〜…♥♥、ちんぼミルクの大噴射が
おまんこいっぱい噴き出ちやうううううううううう♥♥」

■怪物の射精はソーサレスのザーメン許容量を越え
洪水のようにあふれ出した。

■「ぶっ…♥♥ブヒッ♥♥ぶひいしいい♥♥♥
こんな射精いい♥♥♥♥初めてえええ♥♥
墮ちるう♥♥巨大ちんぼのぶるぶるザーメン気持ち良すぎて
墮ちるっ♥♥戻れなくなるう♥♥♥♥
豚…♥♥巨大ちんぼのメス豚になるうううううっ♥♥♥♥」

■そう言うとソーサレスは穴という穴から汁を噴出し、全身を激しく痙攣させ、
孕ませられる悦びを…メスとしての至極の悦びを身体いっぱい受け、
受精を受け入れたのであった。

■数ヵ月後……

■誰も到達できない地下迷宮の奥底…
ソーサレスは怪物たちに囲まれて生活していた。

■薄暗いじめじめした迷宮の中
ソーサレスは幸せそうな表情を浮かべ
嬉しそうに両手で怪物たちのちんぽをじごき、
腰を振って、射精されるたびメスの悦びを感じてい

■その姿にもはや人間としての尊厳、
ソーサレスとしてのプライドは無い。
ただ巨大な地下迷宮の怪物たちを
産み出す苗床として生きているに過ぎない。

■だが彼女はこれでよかったのであろう。
本当にほじかった本当の『お宝』。
それを手に入れたのかも知れないのだから…。

■おしまい■



SŌRCĒRIĀN

THE COTERIE SORCESS FROM DRAGONS CROWN
PRESENTED BY KIKYAKUDOU KARATEKA-VALLU
FOR ADULTS ONLY